

航 空 自 衛 隊 仕 様 書				
仕様書の種類	内容による分類		役務仕様書	
	性質による分類		個別仕様書	
物品番号			仕様書番号	
品 名 又は 件 名	展示機の塗装等		加分基 L P S - X 6 9 0 0 1	
			承認	令和 8 年 7 月 1 7 日
			作成	令和 8 年 7 月 1 0 日
			改正	令和 年 月 日
			作成部隊等名	第 3 3 警戒隊

1. 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は航空自衛隊加茂分屯基地における展示機の塗装等（以下，“役務”という。）について規定する。

1.2 役務履行場所

航空自衛隊加茂分屯基地

2. 役務に関する要求

2.1 役務対象品

表 1 一名所，物品番号，数量及び単位

名称	物品番号	数量	単位	備考
展示機（F－1）	1201-6990-NL9504-20-002	1	個	付図のとおり。

2.2 事前確認

契約相手方は、予め展示用航空機等の採寸，配色，補修箇所等の細部確認を監督官の立ち合いのもと，実施するものとする。

2.3 提出書類

契約相手側は、作業の実施に先立ち作業工程表 7 を提出し，監督官の確認を受けるものとする。

2.4 塗装等方法

塗装等するにあたり，以下のとおり実施するものとする。

a) 工程

項目	仕様・規格	備考
養生・安全確保	1 航空機の洗浄又は拭きあげ処置	養生は，天井部，四方及び床部のすべて覆うものとし，荒天時の対応についても，ビニールシートなどによる養生及び資器材の飛散防止に万全を期す。
	2 養生（塗装飛散及び非塗装箇所の保護）	
	3 作業安全上の措置	

品名又は件名	展示機の塗装等
--------	---------

下地処理	1 展示用航空機の旧塗装膜の剥離（全面） 2 塗膜が剥がれ、錆化している表面の処理（ケレン及びケレン後の粉塵処理） 3 赤錆の除去	1 展示用航空機の旧塗装膜の剥離（全面）については、剥離剤又はグラインダー等を使用する。 2 塗装されていない部位については、現状保存を行う。 3 錆劣化による欠損部のパテ埋め成形処置及び欠損部の補修等による成形処置を実施する（既補修箇所の再補修等を含む。）。また、無塗装部の成形処置は、下地素材と同系色のもので処置を行う。
下塗り塗装	2回塗り	パワー防錆 EP039 又は同等品以上で塗装（剥離した部分を全面）する。
上塗り塗装	2回塗り	1 刷毛，ローラー塗装及びスプレーガン塗装とする。 2 キャノピー開閉用レバー格納庫ボックス等は可動状態を維持する。
コーティング塗装	2回塗り	特殊ウレタン樹脂塗装 041 クリヤーによる全面コーティング塗装を実施する。

b) 配色

付図のとおりとし、下表の塗料（同等品可）を使用するものとする。

なお、塗料の色彩について、予め監督官の確認を受けるものとする。

色	規格	備考
艶消濃松色	絶・対候性 GF020 35-40B	
艶消薄松色	絶・対候性 GF020 42-40H	
艶消黄土色	絶・対候性 GF020 22-60D	
艶無グレー	絶・対候性 GF020 25-70A	
艶消黒	絶・対候性 GF020 N-10	
艶有赤	絶・対候性 GF020 05-40X	
艶有白	絶・対候性 GF020 N-95	
艶有黄	絶・対候性 GF020 22-80X	
艶無シルバー	GSR BCベースコートカラー D772（シルバーコース）	アレスティングにのみ使用する。
艶無フォレストグリーン	45-50H	
艶有オリーブドラブ	25-40D	

品名又は件名	展示機の塗装等	
艶有白	パワー防錆AP089 N-95	補助輪、主脚、ホイール部位にのみ使用する。

c) 操縦席風防mアクリル部分（外側）

鏡面加工とし、特殊ウレタン樹脂塗装041クリヤーを用意手コーティング（2回塗り）するものとする。

d) 架台鋼材

下地処理を行い。パワーボウセイ・絶・対候性GF020 22-80X（2回塗り）するものとする。

2.5 共通事項

- a) 安全管理及び塗装の飛散防止のため養生等の処置を確実に基地内に立入る際、面会証により許可を受けるものとする。
- b) この役務に関する事項において調整が必要な場合は、契約担当官と調整するものとする。
- c) 契約相手方は、指定された場所以外に許可なく立ち入りしてはならない。
- d) 基地内における車両の運行については、加茂分屯基地規則に従うものとする。
- e) 作業現場の安全衛生は、労働安全衛生法等その他関係法令に従い、これを行うものとする。
- f) 作業中は、火災及び盗難の予防に十分に注意し、必要な処置をとる。また、喫煙は指定された場所でのみ可能とする。
- g) 火気を使用する場合は、あらかじめ火気使用許可申請書を監督官へ提出し、許可を受けてから使用するものとする。

3 品質保証

3.1 監督・検査

監督・検査は、本仕様書の定めるところによる。

3.2 品質保証

契約相手側は、品質保証について12か月の責任を有するものとし、変色又は剥離等が発生した場合、無償で修復するものとする。

4. 官側における支援

契約相手方は、急病等の応急処置に関し必要な援助を受けられるものとする。

5. その他の指示

- a) 契約相手方は、本役務の履行において、事前に作業日程等の調整会議を官側と行うものとする。
- b) 契約相手方は、本仕様書に疑義が生じた場合は、速やかにその旨を契約担当官に申し出て指示を得るものとする。

品名又は件名	展示機の塗装等
--------	---------

- c) 契約相手方は、本仕様書に明記されていない事項及び疑義が生じた場合は監督官と協議するものとする。

6. 特記事項

- a) 本役務に必要な諸器材に係る一切の費用は、契約相手方の負担によるものとする。
- b) 契約相手方は本役務の履行においては、周辺施設へ損害（又は粉じん等による機器への影響）を与えることがないよう行うものとする。

なお、周辺施設へ損害を与えた場合は、遅滞なく監督官に報告するとともに、契約相手方の責任において、速やかに現状へ復帰させるものとする。

- c) 本役務において発生した不用品は、官側が指定するものを除き契約相手方において処分するものとする。
- d) 施工中及び施工完了後は、当該工事に関連する場所の清掃、仮設物の撤去を確実に実施するものとする。
- e) 作業において電源及び給水を必要とする場合は、原則として契約相手方が発動発電機及び給水タンク等を用意するものとする。

7. 仕様書の疑義

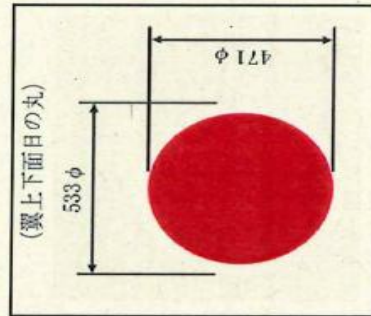
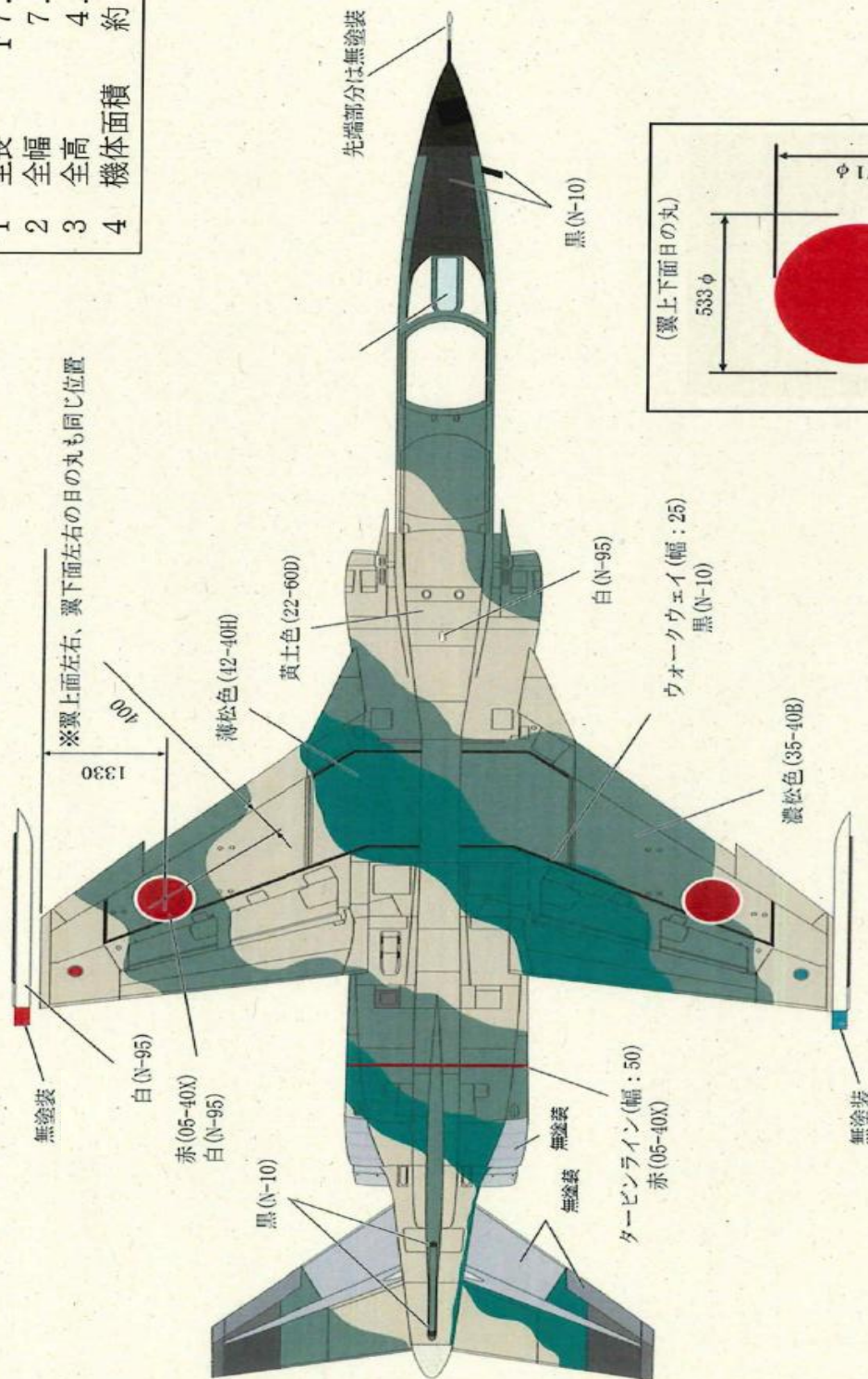
契約相手方は、仕様書の内容について疑義が生じた場合は、契約担当等と協議の上その指示を受けるものとする。

付図一配色

機体上部 (mm)

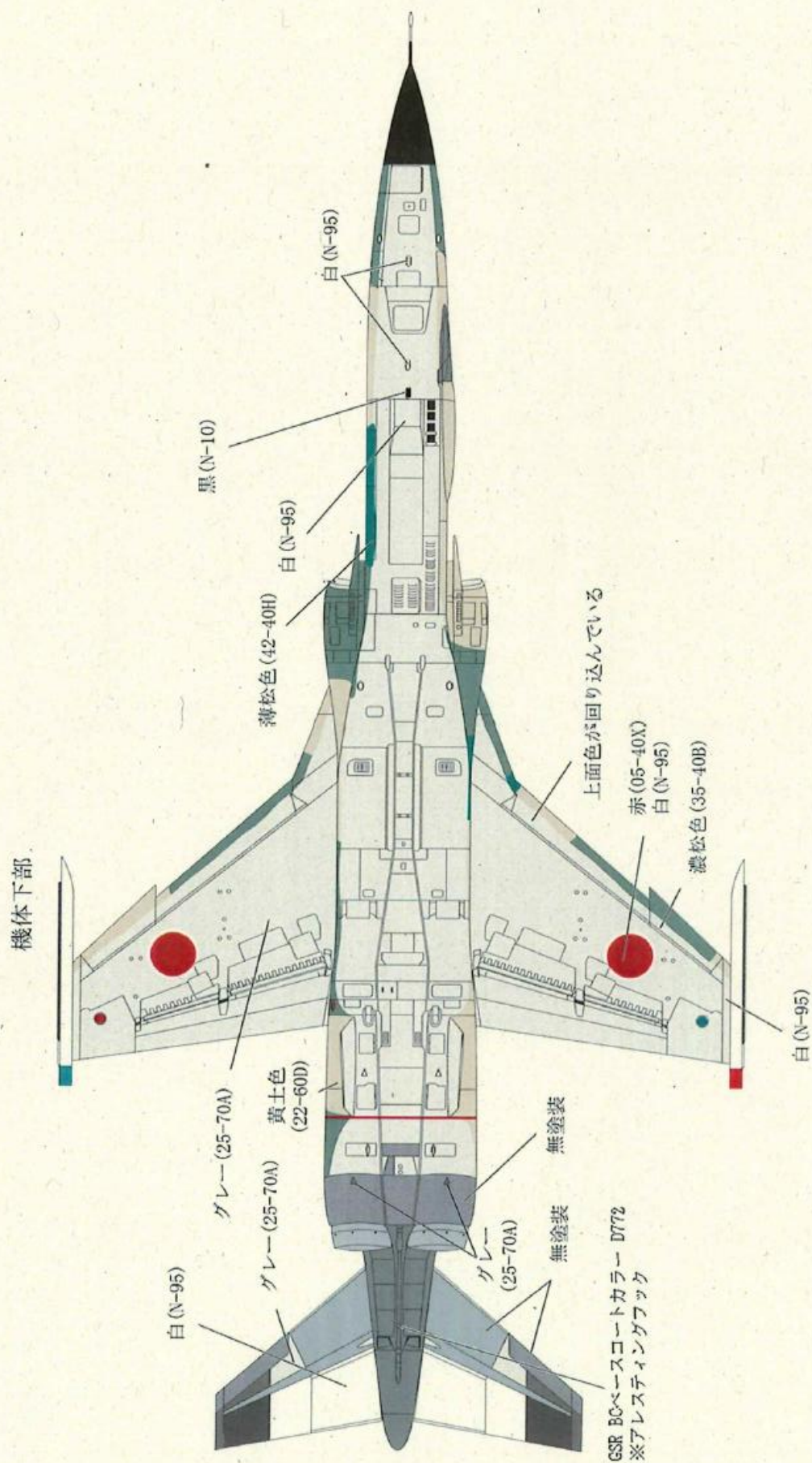
機体寸法等

1	全長	17.85m
2	全幅	7.88m
3	全高	4.45m
4	機体面積	約163m ²



- 注: 1 ランプのレンズ及びカバーは無塗装とする。
 2 各迷彩色の境界は「ぼかし」とし、塗装位置の変動は100mm以下とする。

付図一配色 (続き 1)



注：1 ランプのレンズ及びカバーは無塗装とする。

2 各迷彩色の境界は「ぼかし」とし、塗装位置の変動は100mm以下とする。

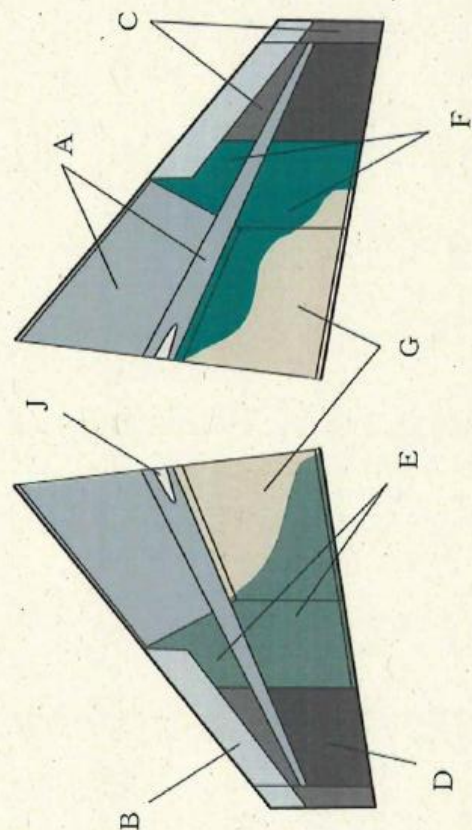
付図一配色 (続き 2)

尾翼上・下部

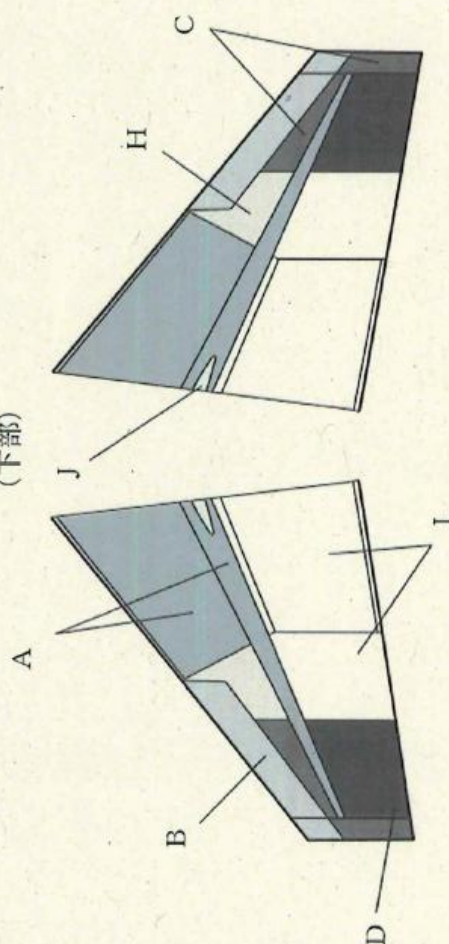
※各迷彩色の境界は「ぼかし」とし、塗装位置の変動は10.0 mm以下とする。

A : 無塗装
B : 無塗装
C : グレー (25-70A)
D : 黒 (N-10)
E : 濃松色 (35-40B)
F : 薄松色 (42-40H)
G : 黄土色 (22-60D)
H : グレー (25-70A)
I : 白 (N-95)
J : グレー (25-70A)

(上部)

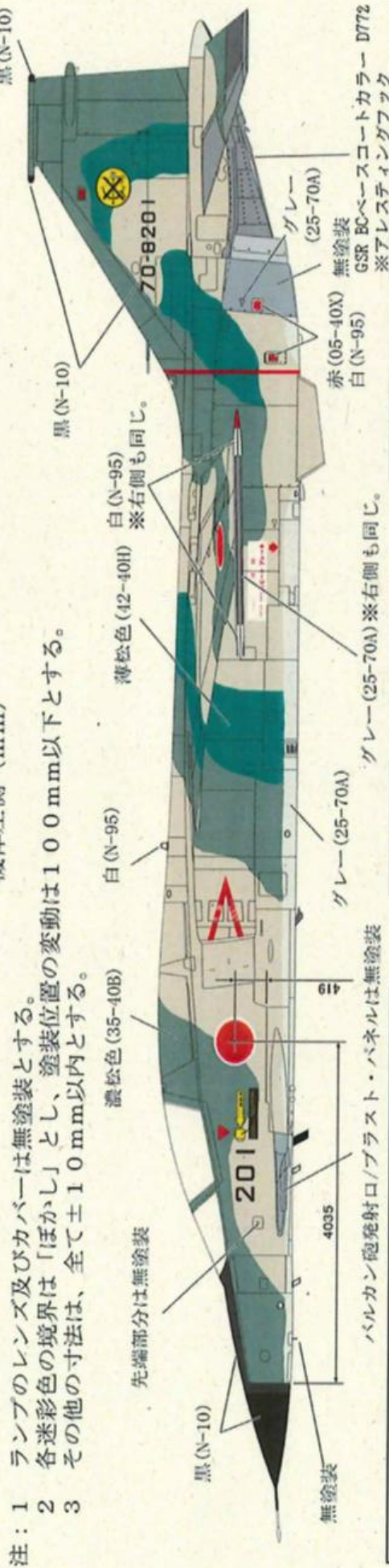


(下部)



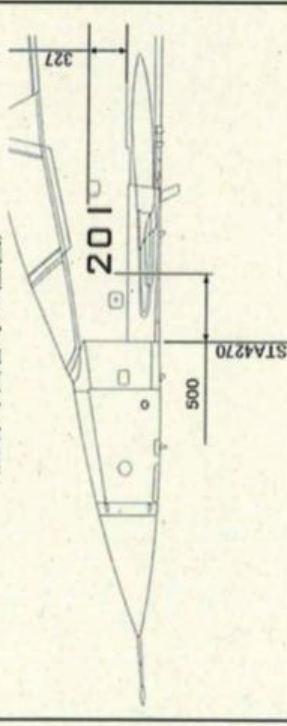
付図一配色 (続き 3)

機体左側 (mm)



- 注: 1 ランプのレンズ及びカバーは無塗装とする。
 2 各迷彩色の境界は「ぼかし」とし、塗装位置の変動は100mm以下とする。
 3 その他の寸法は、全て±10mm以内とする。

(無線呼出番号の位置)

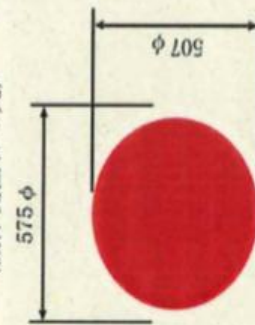


(無線呼出番号の大きさ)



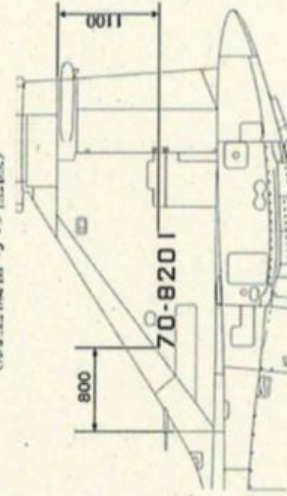
- 注: 1 機体右側も同じ。
 2 機体の番号は見本番号であり、塗装する番号は「246」である。

(機体側面日の丸)

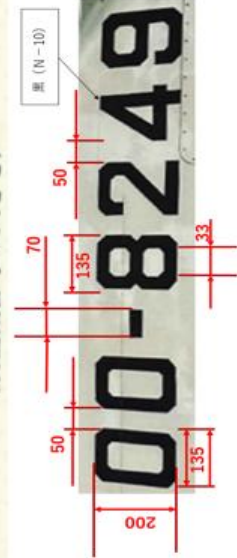


注: 機体右側も同じ。

(航空機番号の位置)



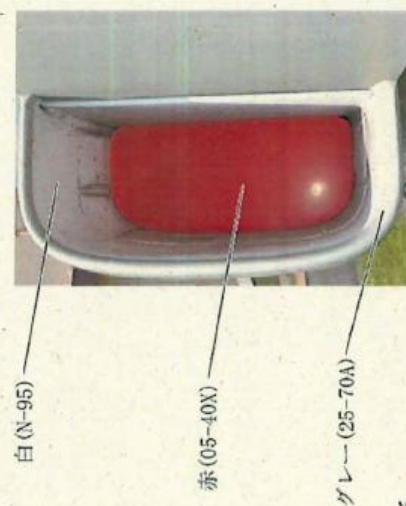
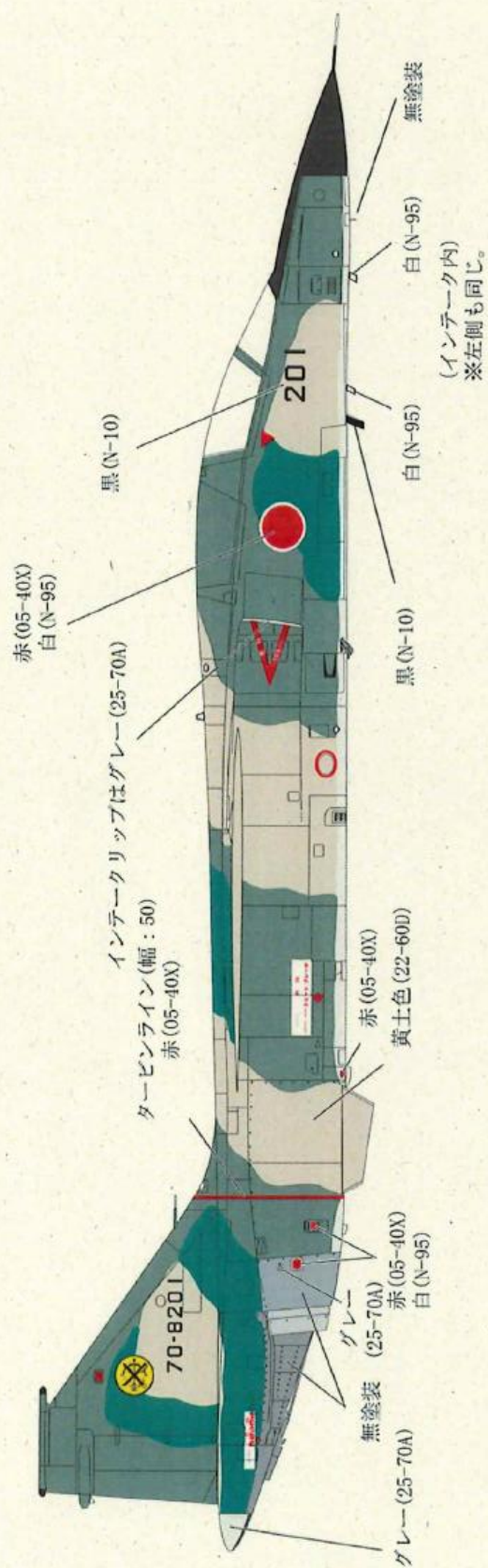
(航空機番号の大きさ)



- 注: 1 機体右側も同じ。
 2 機体の番号は見本番号であり、塗装する番号は「00-8249」である。

付図一 配色 (続き 4)

機体右側 (mm)



- 注：1 ランプのレンズ及びカバーは無塗装とする。
2 各迷彩色の境界は「ぼかし」とし、塗装位置の変動は100 mm以下とする。

付図一配色 (続き 5)

部隊マーク (左側) (mm)

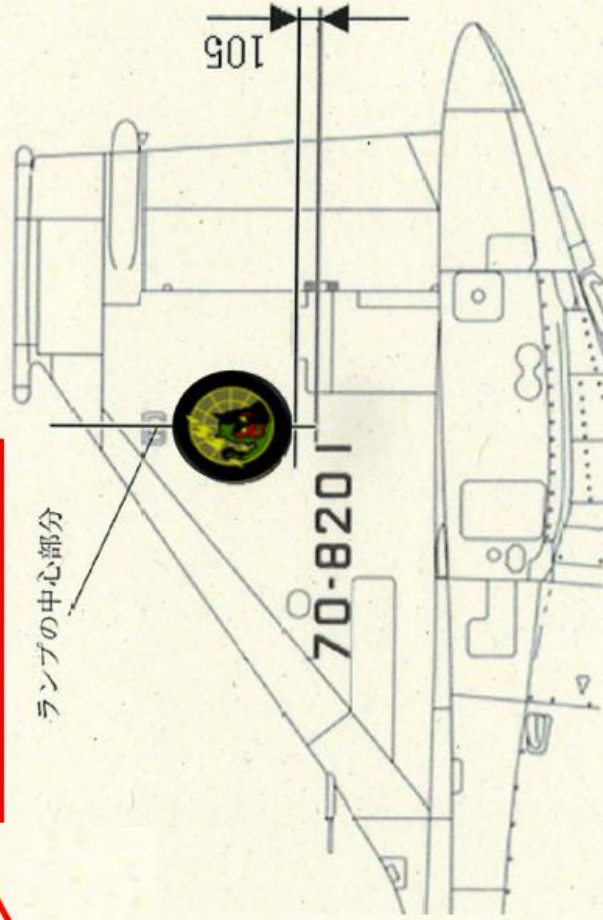


黄 (22-80X)

赤 (05-40X)

黒 (N-10)

ランプの中心部分



オリーブドラブ 25-40D

フォレストグリーン 45-50H

※寸法は、±10mm以内とする。

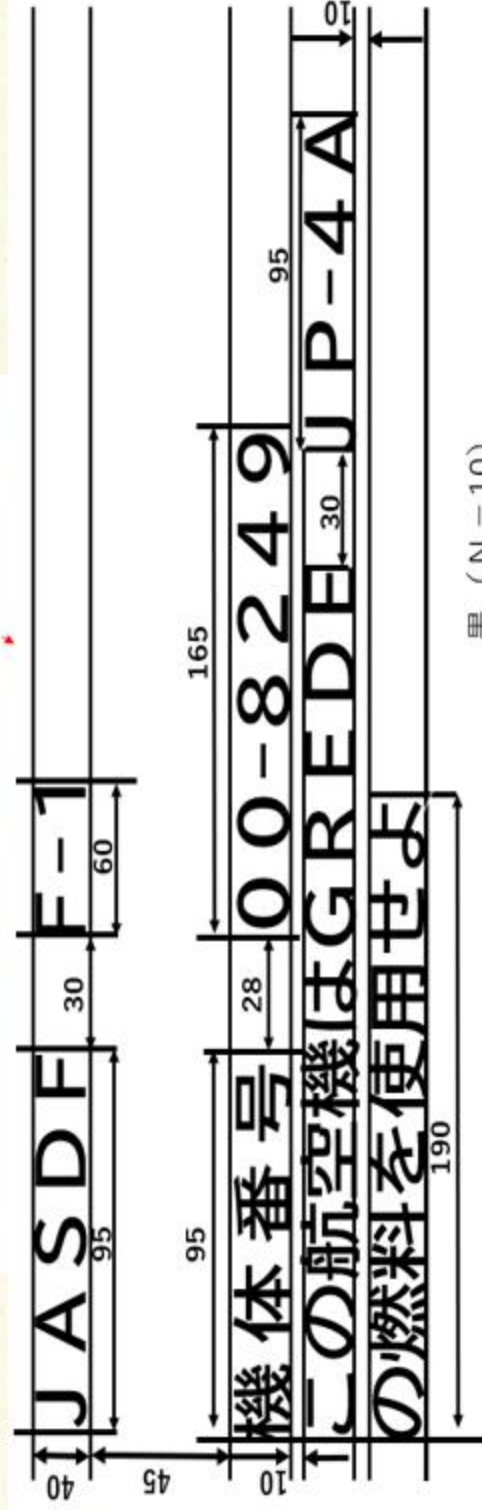
付図一配色 (続き 6)

「機体番号等」表示 (左側) (mm)



※見本文字の使用フォント
英数字: BIZ UDゴシック
文字: HGSゴシックM

※寸法は、±2mm以内とする。



黒 (N-10)

付図一配色 (続き 8)

「RESCUE」表示 (左側) (mm)



ボタンの中心の位置

249

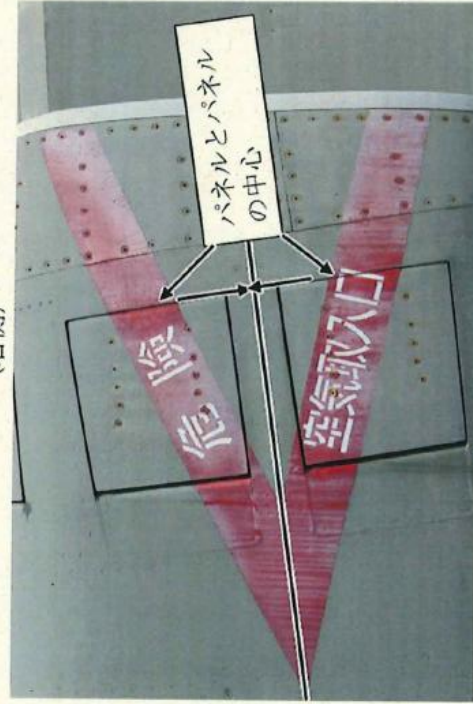
1. このマークは救助用
2. 救助用には救助用
3. 救助用には救助用
4. 救助用には救助用



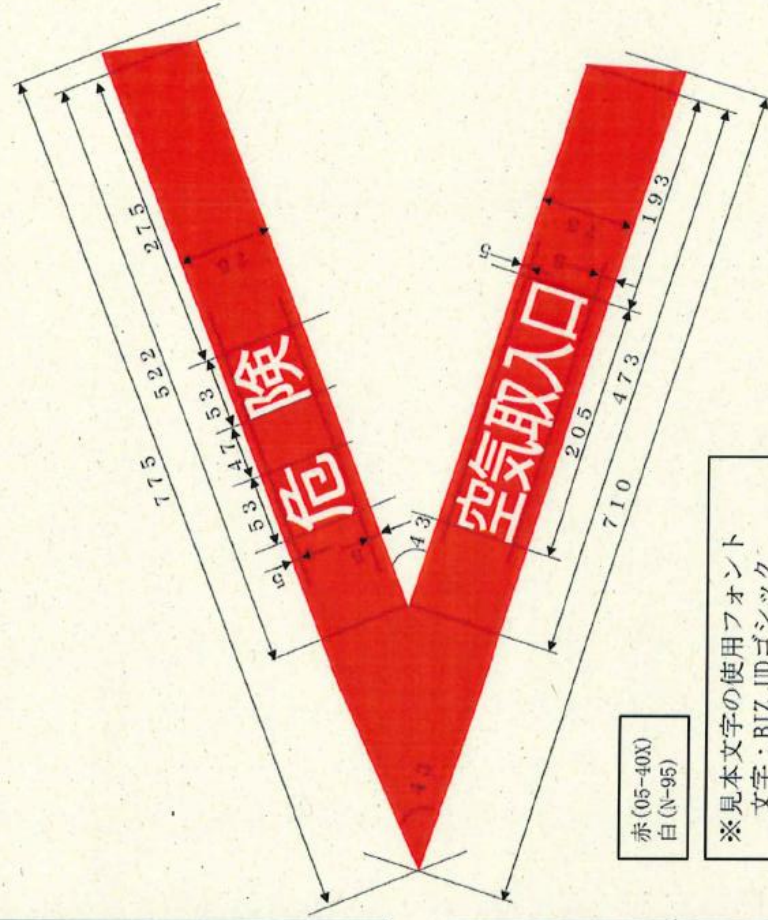
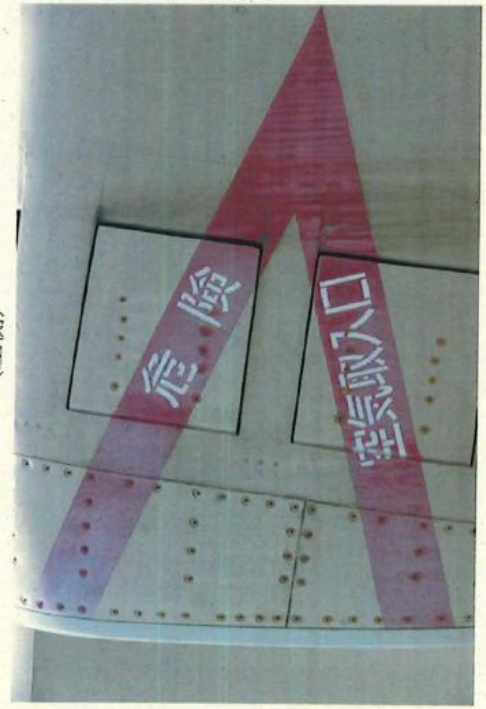
付図一 配色 (続き 10)

「インテーク」表示 (左右) (mm)

(右側)



(左側)



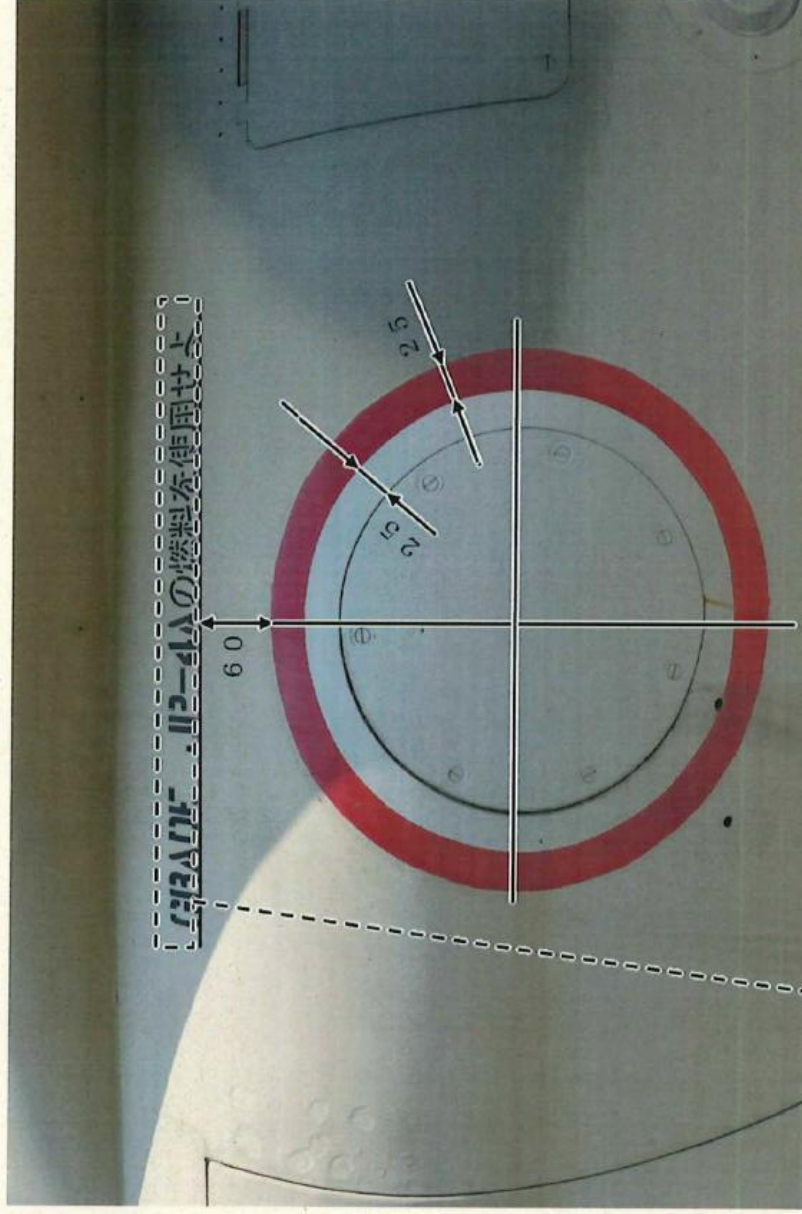
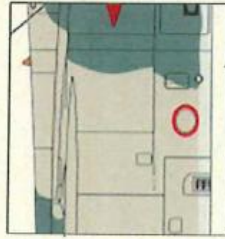
赤 (05-40X)
白 (N-95)

※見本文字の使用フォント
文字 : BIZ UDゴシック
「空気取入口」の文字は、やや
縦長文字である。

※寸法は、± 2 mm以内とする。

付図一配色 (続き 11)

「給油口」表示 (右側) (mm)



※見本文字の使用フオント
英文字: HG創英角ゴシックUB
文字: BIZ UDゴシック

黒 (N-10)
赤 (05-40X)
グレー (25-70A)

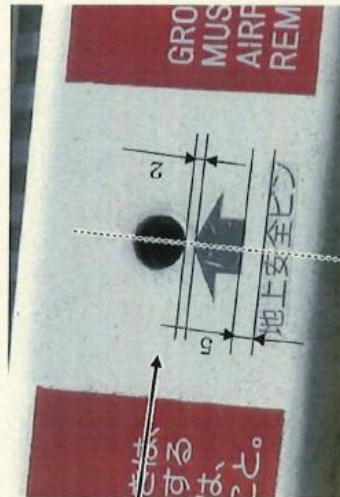
GRADE JP-4Aの燃料を使用せよ

※寸法は、±2mm以内とする。

付図一配色 (続き 1 2)

「ランチャー」 (右: 前方内側) (mm)

無塗装

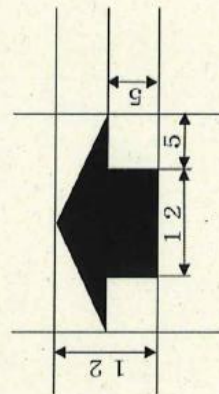


穴の中心部分に矢印中心部分を合わせる。



※見本文字の使用フォント
HGP明朝 B

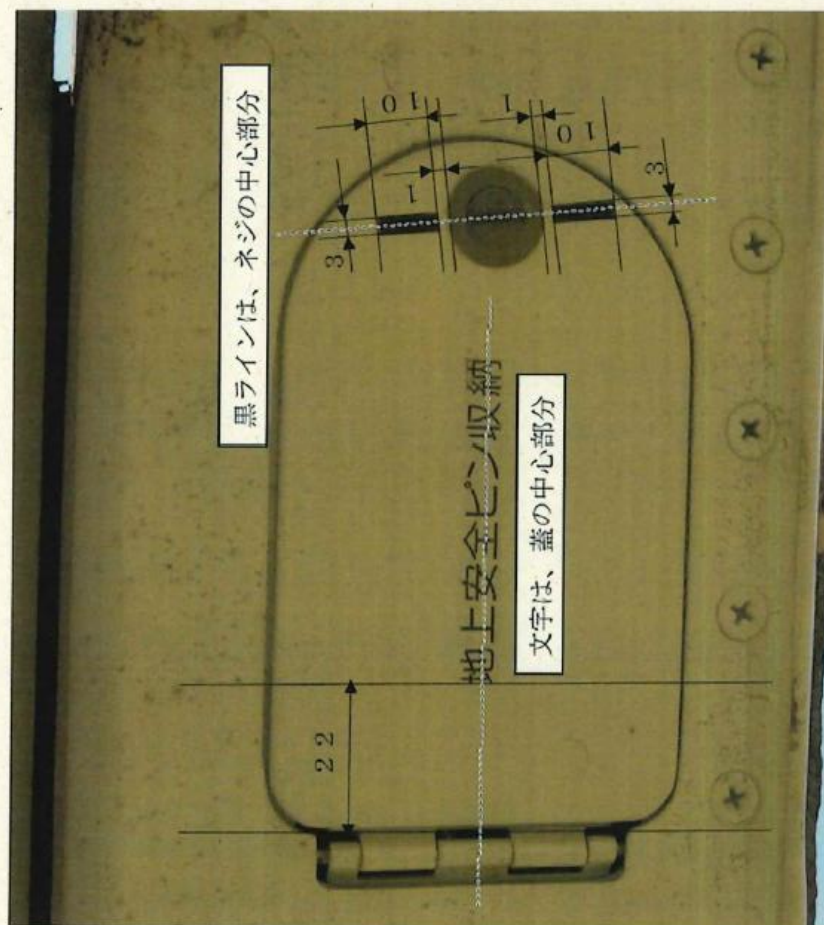
黒 (N-10)



※寸法は、± 2 mm以内とする。

付図一配色 (続き 1 3)

「ランチャー」 (右: 下部後方) (mm)



5 2
地上安全ピン収納

※見本文字の使用フロント
HGP明朝B

黒(N-10)

※寸法は、±2mm以内とする。

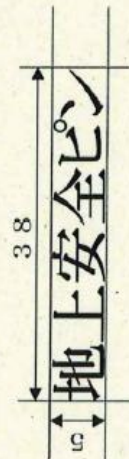
付図一配色 (続き 14)

「ランチャー」 (左: 前方内側) (mm)

無塗装

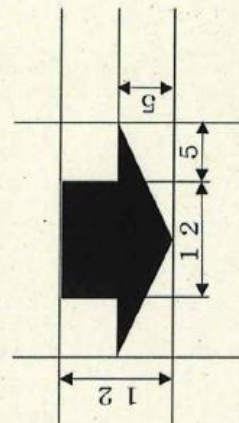


穴の中心部分に矢印中心部分を合わせる。



※見本文字の使用フロント
HGP明朝B

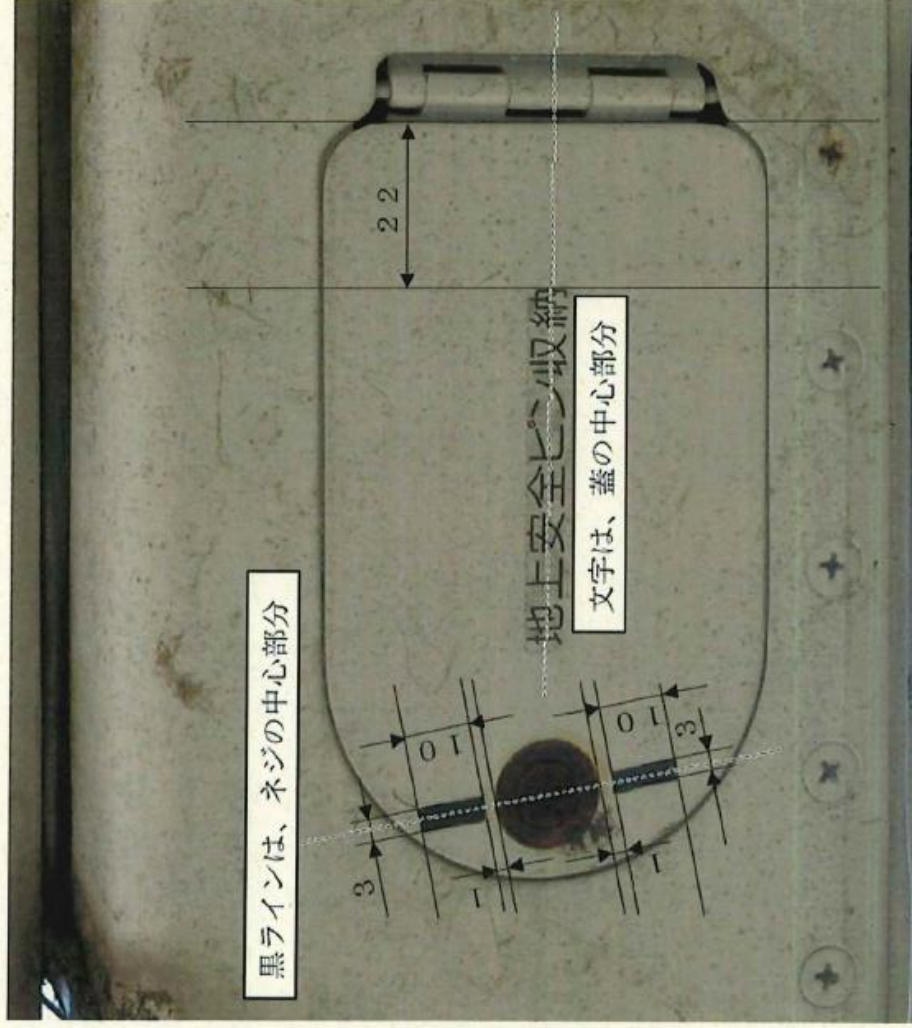
黒 (N-10)



※寸法は、± 2 mm以内とする。

付図一配色 (続き 15)

「ランチャー」 (左: 下部後方) (mm)



52

地上安全ピン収納

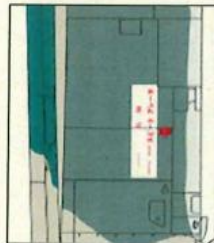
※見本文字の使用フォント
HGP明朝B

黒 (N-10)

※寸法は、±2mm以内とする。

付図一配色 (続き 16)

「スピードブレーキ」表示 (右側) (mm)

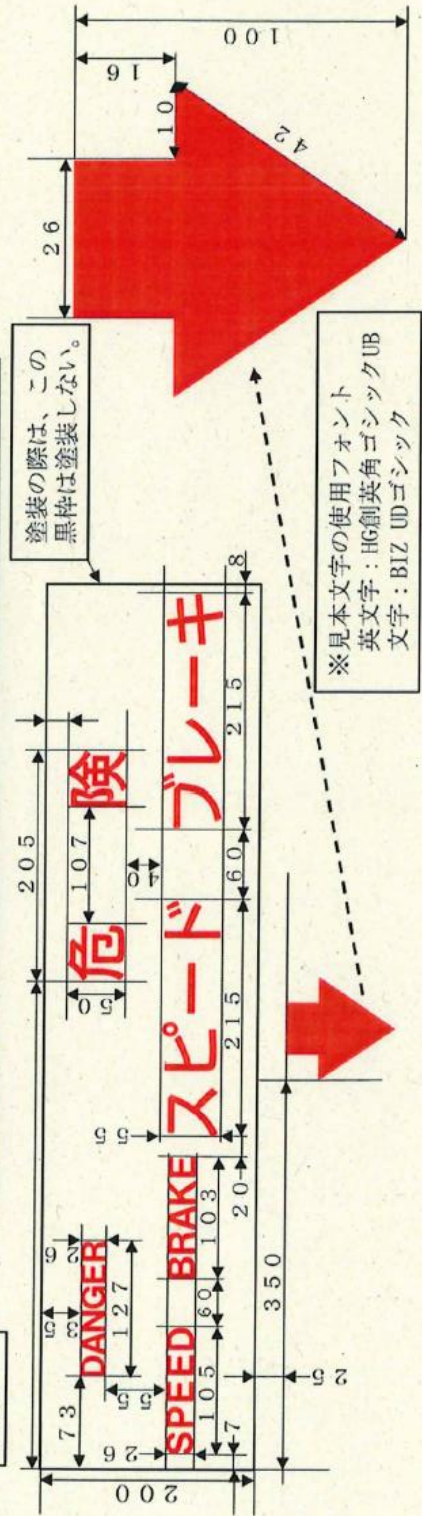


このラインは機体の
プレスライン



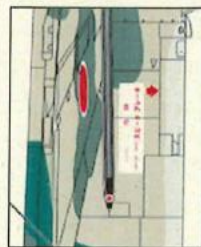
※寸法は、±2mm以内
とする。

赤 (05-40X)
白 (N-95)

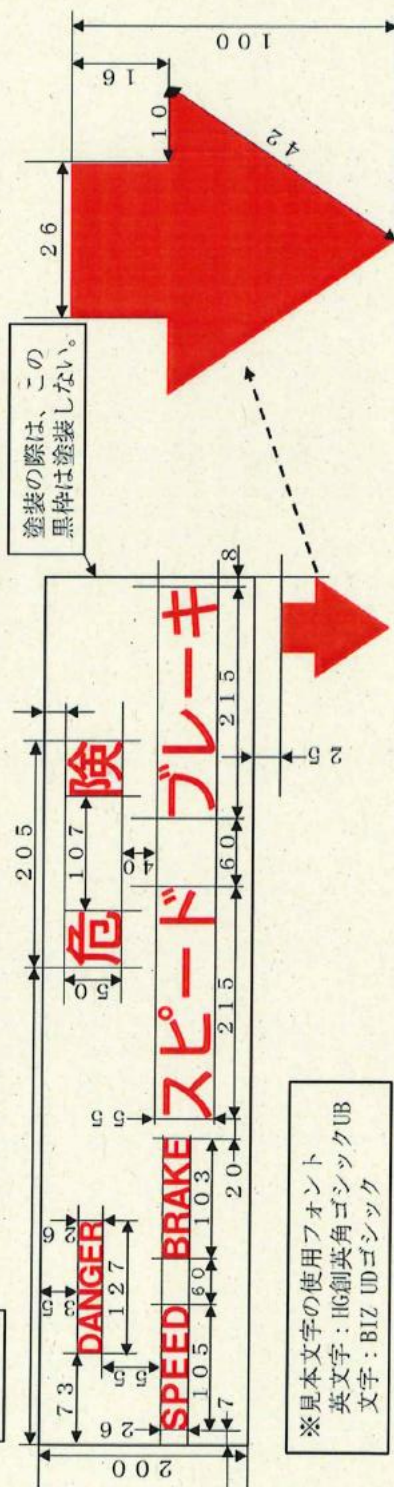
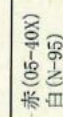


付図一 配色 (続き 17)

「スピードブレーキ」表示 (左側) (mm)



※寸法は、 $\pm 2\text{ mm}$ 以内とする。

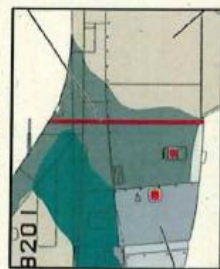


※見本文字の使用フロント
英文字：HG創英角ゴシックUB
文字：BIZ UDゴシック

付図一配色 (続き 18)

「タービンライン」 (mm)

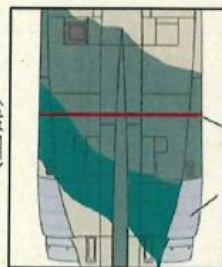
(右側)



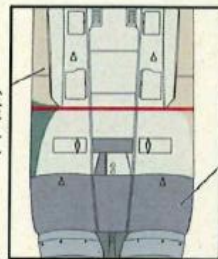
(左側)



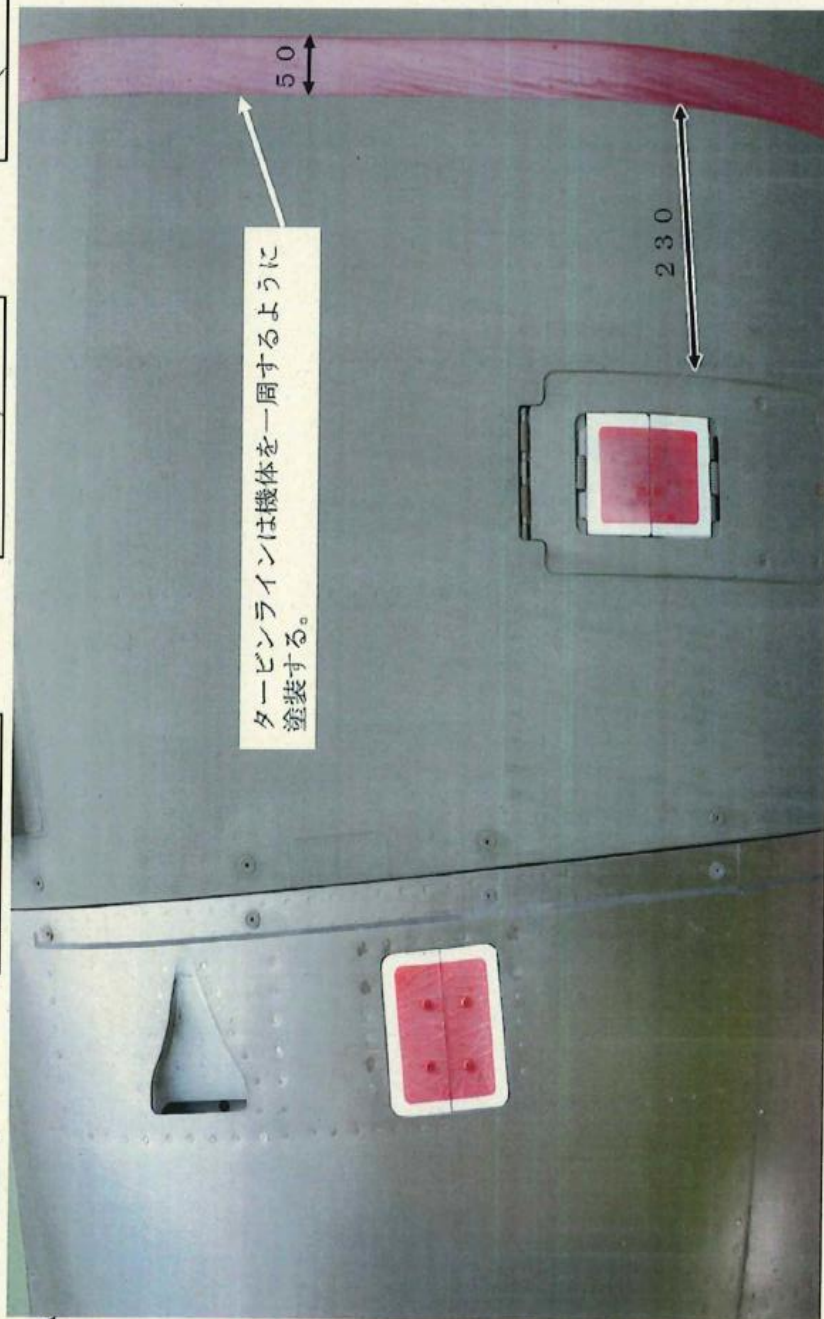
(上部)



(下部)



赤 (05-40X)

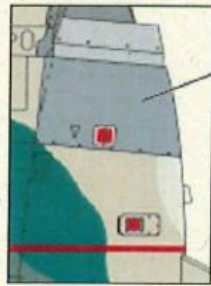


タービンラインは機体を一周するように塗装する。

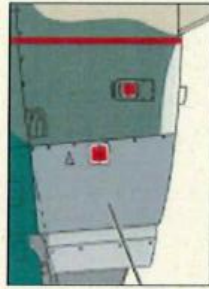
付図一配色 (続き 19)

エンジンノズルカバー手前及びエンジンノズルカバー部のパネル (左右) (mm)

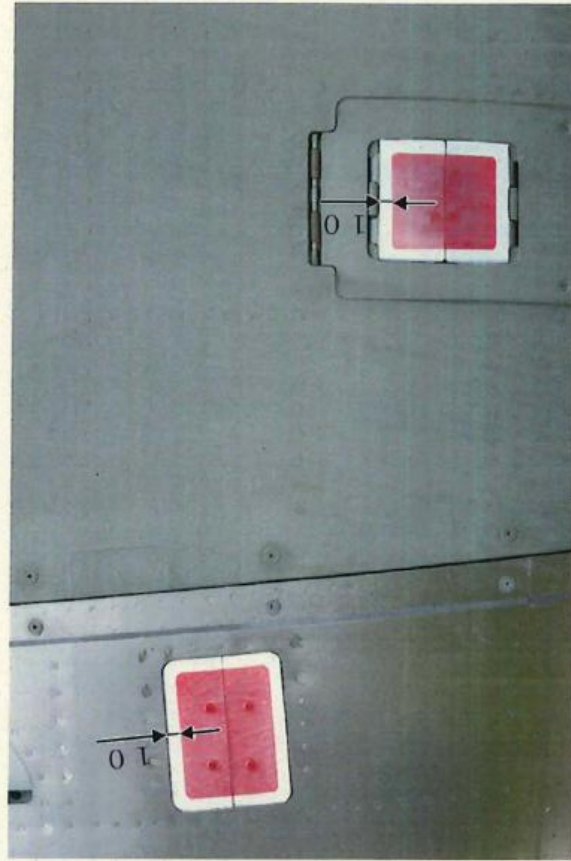
(左側)



(右側)



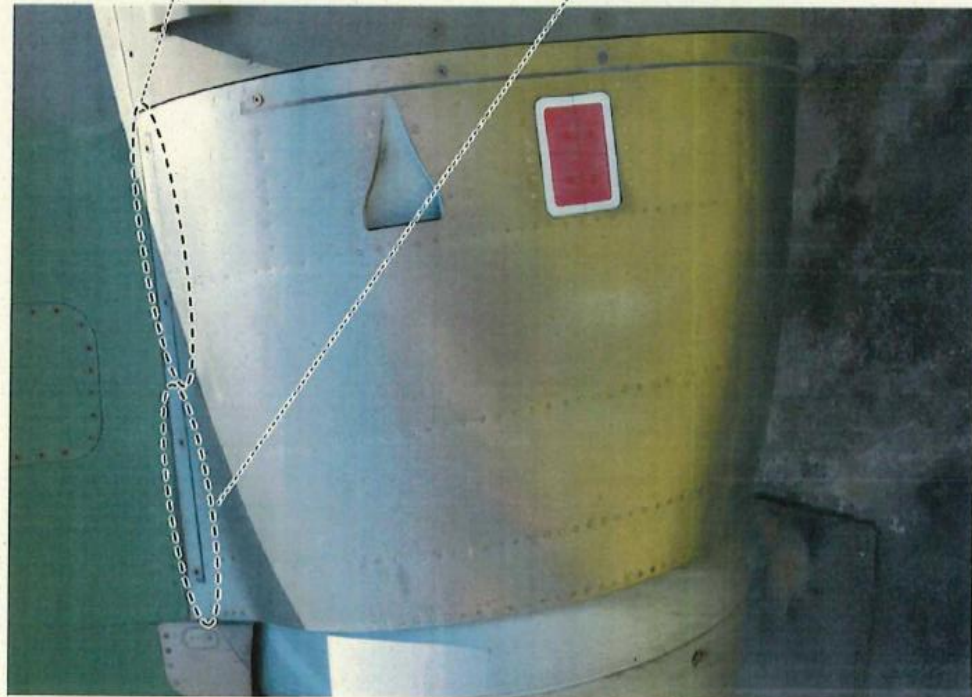
赤 (05-40X)
白 (N-95)



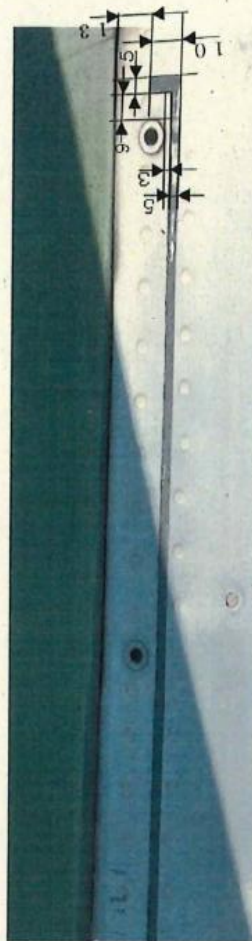
※寸法は、±2mm以内とする。

付図一配色 (続き 20)

エンジンノズルカバ一部の「スタートボルト規格識別ライン」 (右) (mm)



上部前方



上部後方



※他の寸法は上部前方と同じ。

黒 (N-10)

※寸法は、 ± 2 mm以内とする。

付図一配色 (続き 21)

エンジンノズルカバー部の「スタットボルト規格識別ライン」 (右: 1/2) (mm)



側面上部



側面下部



黒 (N-10)

※寸法は、± 2 mm以内とする。

※寸法は「側面上部」と同じ。

付図一配色 (続き 22)

エンジンノズルカバー部の「スタットボルト規格識別ライン」 (右: 2/2)

機体下部



黒 (N-10)

※寸法は「側面上部」と同じ。

※寸法は、± 2 mm以内とする。

付図一配色 (続き 23)

エンジンノズルカバー部の「スタットボルト規格識別ライン」 (左)



上部前方



上部後方

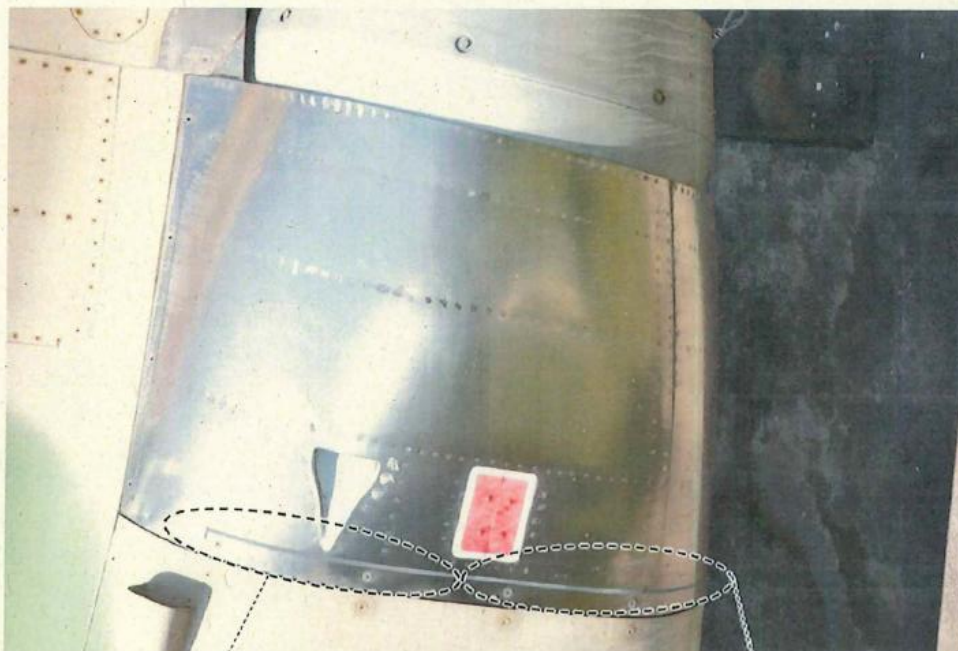


※寸法は、右側と同じ。 ※寸法は、 $\pm 2\text{ mm}$ 以内とする。

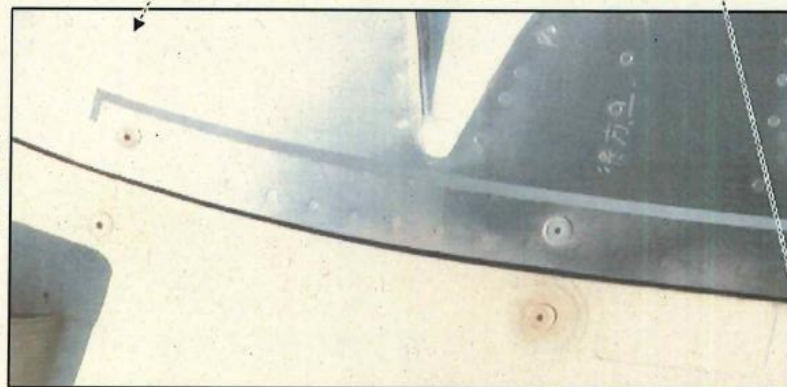
黒 (N-10)

付図一配色 (続き 24)

エンジンノズルカバー部の「スタットボルト規格識別ライン」 (左: 1/2)



側面上部



側面下部



※寸法は、右側と同じ。

黒 (N-10)

※寸法は、 $\pm 2 \text{ mm}$ 以内とする。

付図一配色 (続き 25)

エンジンノズルカバー部の「スタートボルト規格識別ライン」 (左: 2/2)

機体下部



黒 (N-10)

※寸法は、右側と同じ。

※寸法は、±2mm以内とする。

付図一配色 (続き 26)

「アレステイングフック」表示 (左右) (mm)

(左側)



(右側)

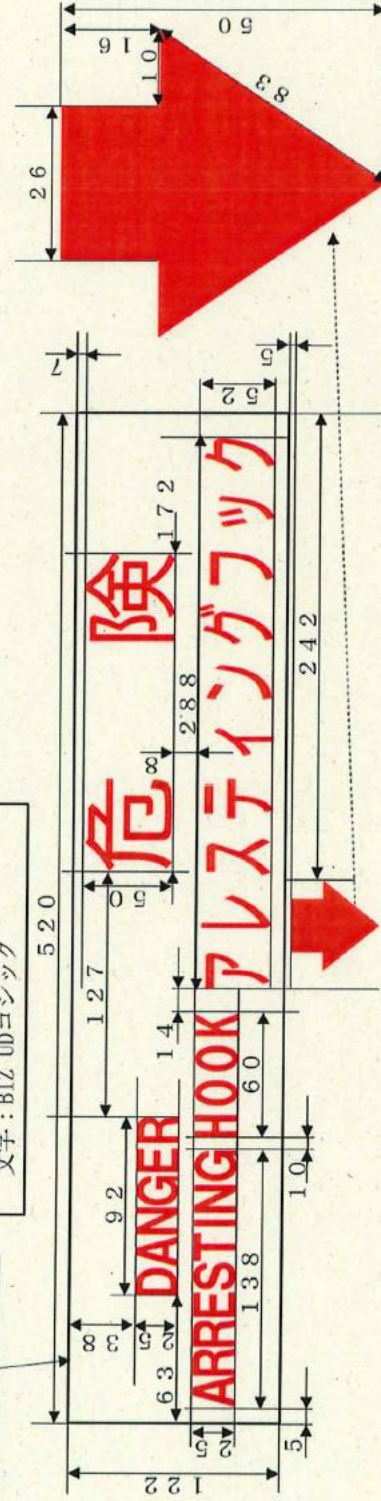


塗装の際は、この
黒枠は塗装しない。

※見本文字の使用フロント
英文字：HG創英角ゴシックUB
文字：BIZ UDゴシック

赤 (05-40X)
白 (N-96)

※寸法は、±2 mm以内とする。



付図一 配色 (続き 27)

(脚全般)

- 1 現在、白く塗装されていない部分 (文字、配管類、ランプ、ゴム部分、金属リング、各種ラベル類等) は無塗装とし、その他は一部を除き白 (N-95) に塗装する (脚固定部は金属部分のみ塗装)。
- 2 脚格納内部 (機体内部) は清掃及び洗浄とし、一部を除き無塗装とする。

「前脚」 (前)



付図一配色 (続き 28)

「前脚」 (右: 1/2)



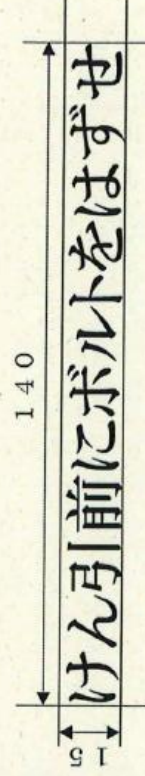
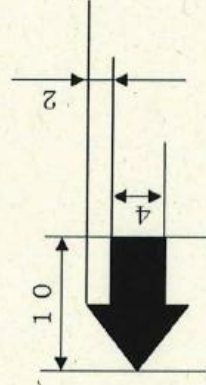
この部分の先端のみ黄 (22-80X)

付図一配色 (続き 29)

「前脚」 (右: 2 / 2) (mm)



アームの中心部分に矢印
及び文字を入れる。



※見本文字の使用フォント
HGP明朝B

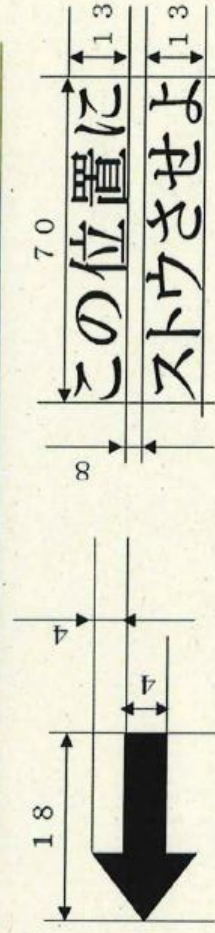
黒(N-10)

※寸法は、 ± 2 mm以内とする。

付図一配色 (続き 30)

「前脚」 (左: 1 / 2) (mm)

(正面)



※見本文字の使用フォント
HGP明朝B

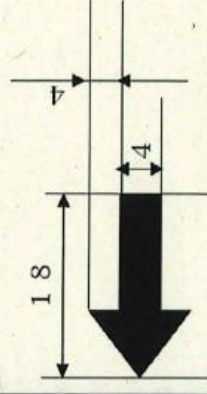
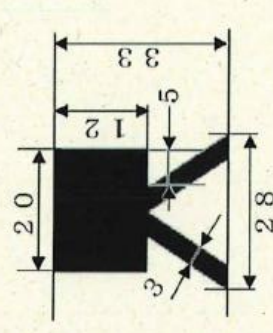
黒(N-10)

※寸法は、±2mm以内とする。

付図一配色 (続き 31)

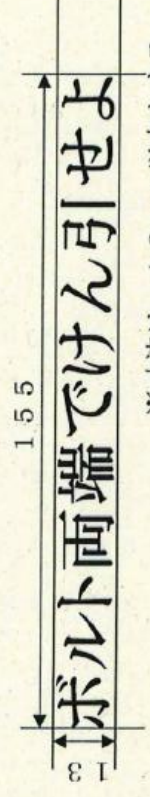
「前脚」 (左: 2 / 2) (mm)

(正面)



※見本文字の使用フォント
HGP明朝B

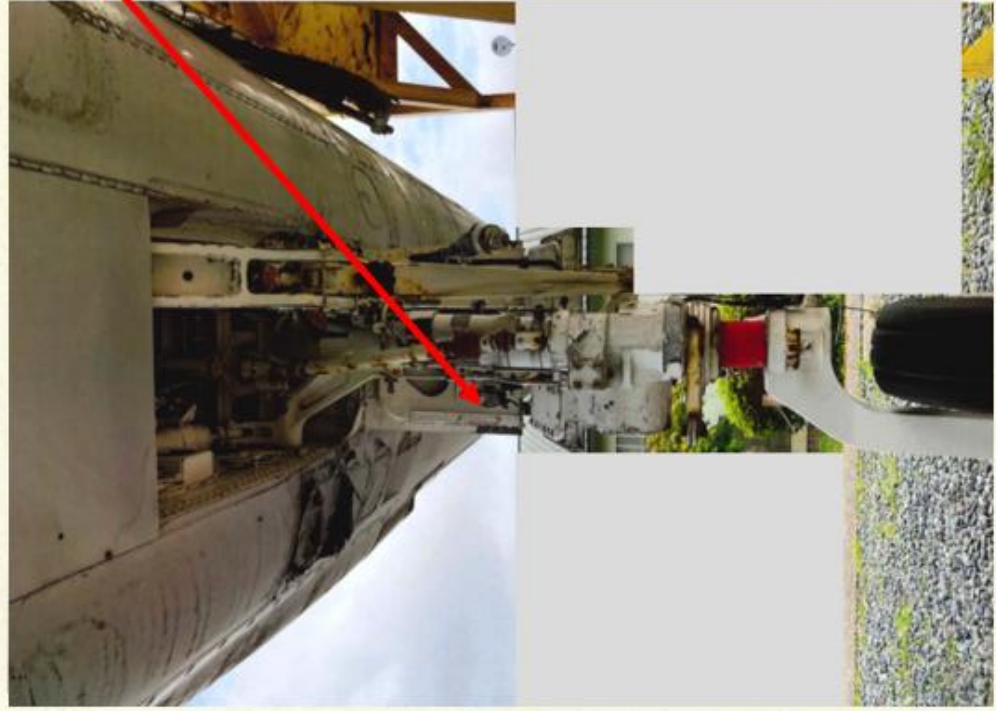
黒(N-10)



※寸法は、±2mm以内とする。

付図一 配色 (続き 3 2)

「前脚」 (後)



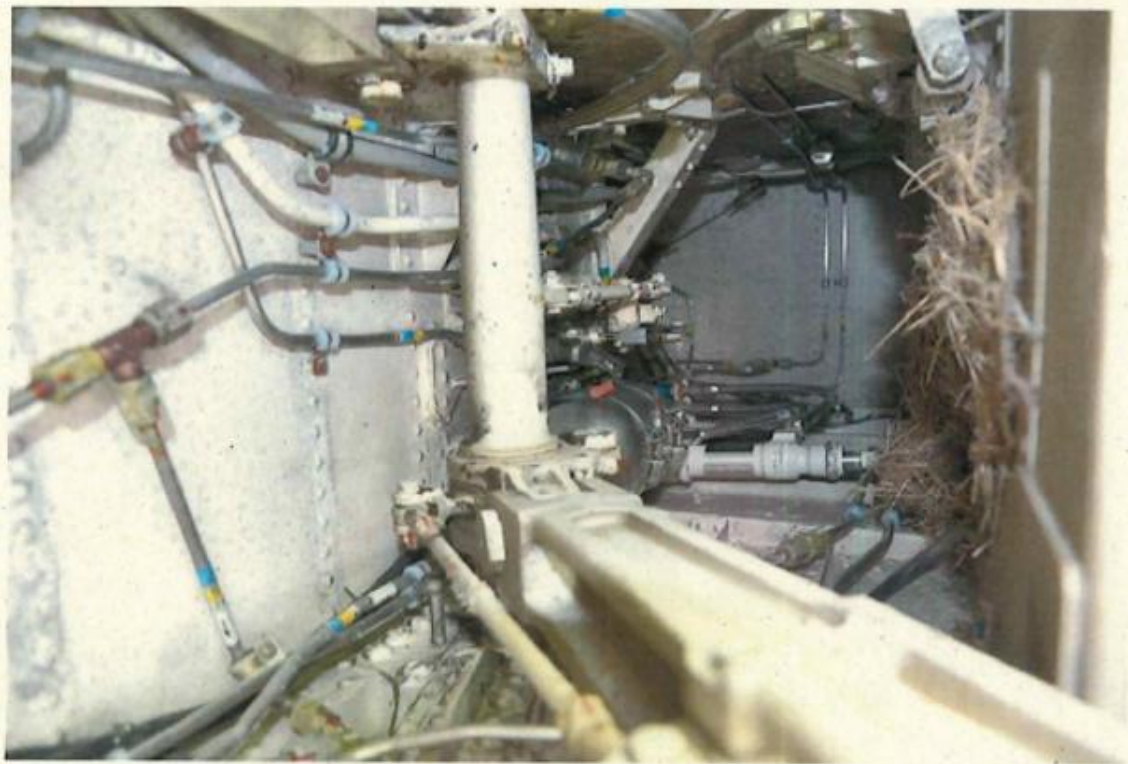
蓋の内装は白 (N-95) に塗装

付図一配色（続き 33）

「前脚」（内部）



塗装（パワー防錆AP089 N-95）脚格納内部は、清掃及び洗浄



付図一配色 (続き 34)

「主脚」 (右側)

- 1 蓋の内側は白 (N-95) に塗装
- 2 蓋側面とレバーは赤 (05-40X) に塗装

(前)



(外側)

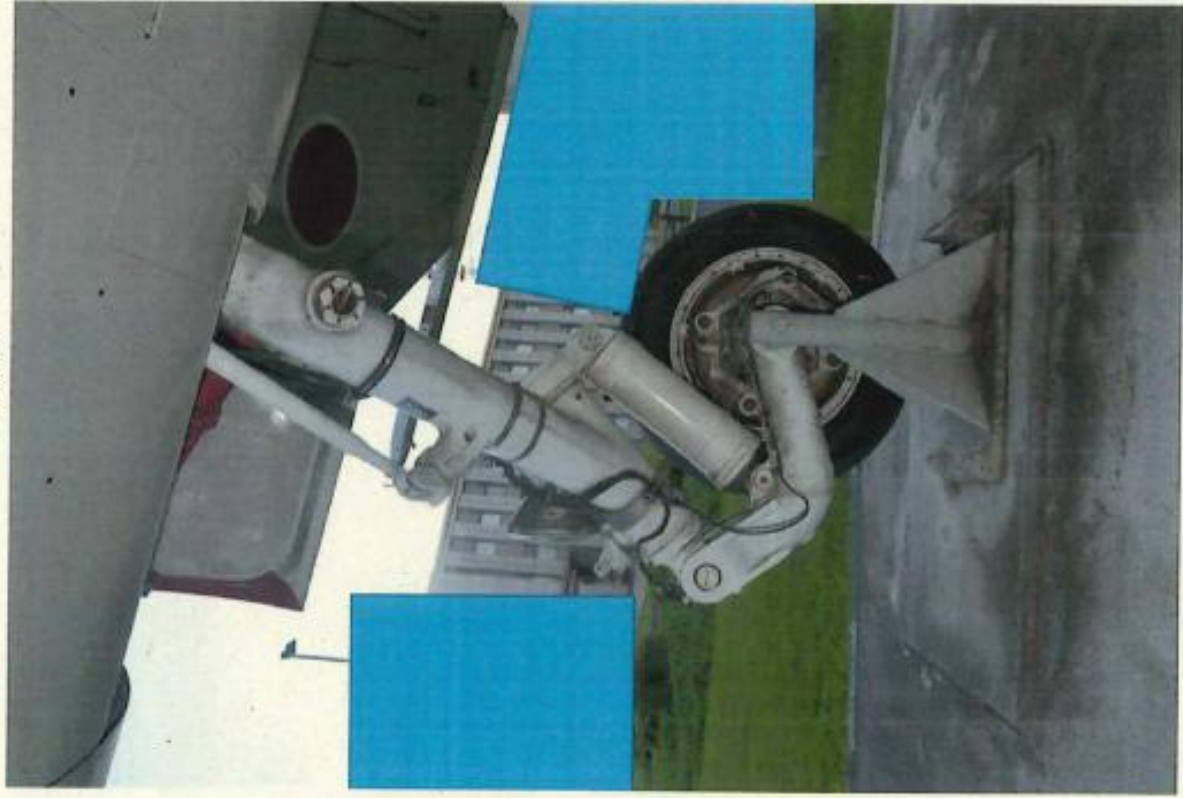
この部分の先端のみ黄 (22-80X)



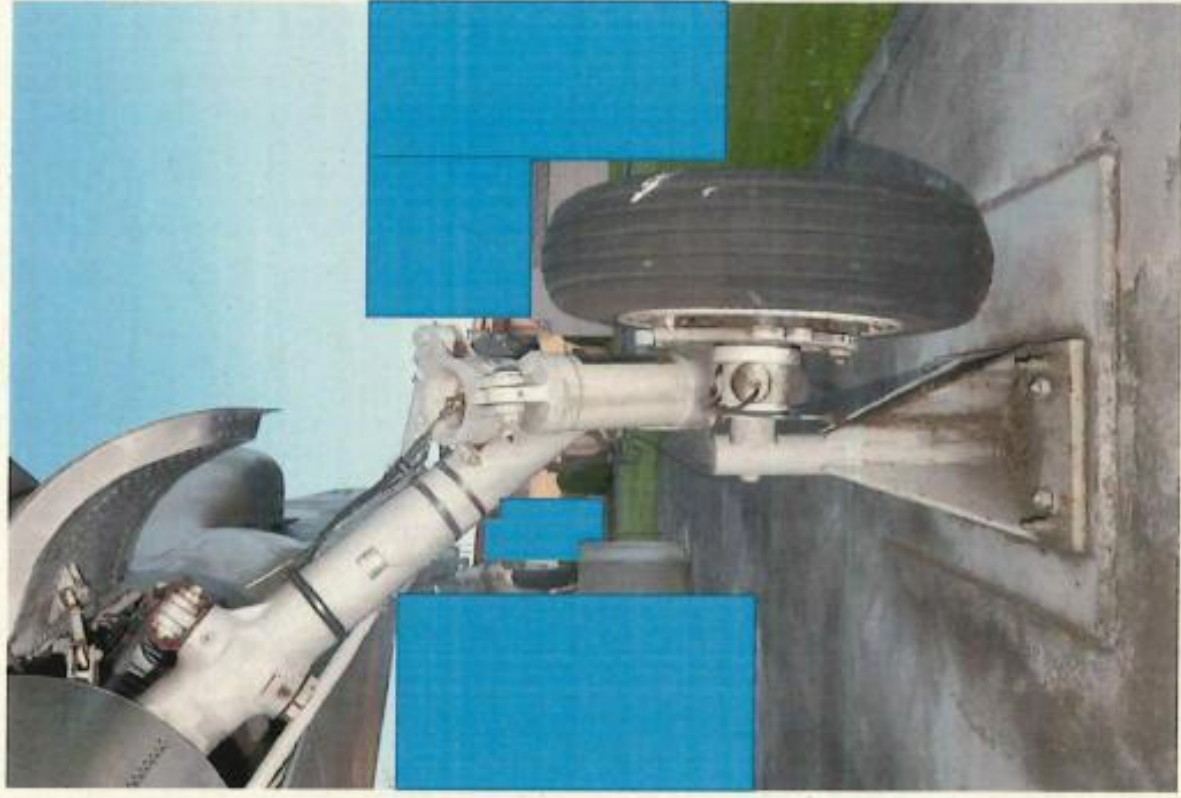
付図一配色（続き 35）

「主脚」（右側）

（内側）

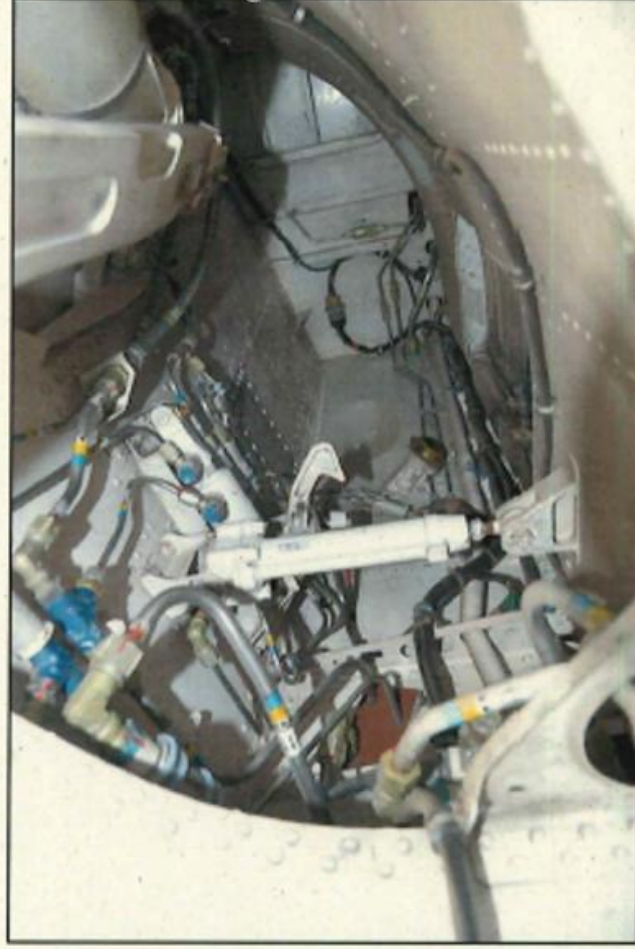


（後）



付図一配色（続き36）

「主脚」（右側内部）



脚格納内部（機体内部）は、清掃及び洗浄

付図一 配色 (続き 37)

「主脚」 (左側)

- 1 蓋の内側は白 (N-95) に塗装
- 2 蓋側面とレバーは赤 (05-40X) に塗装

(前)



(外側)

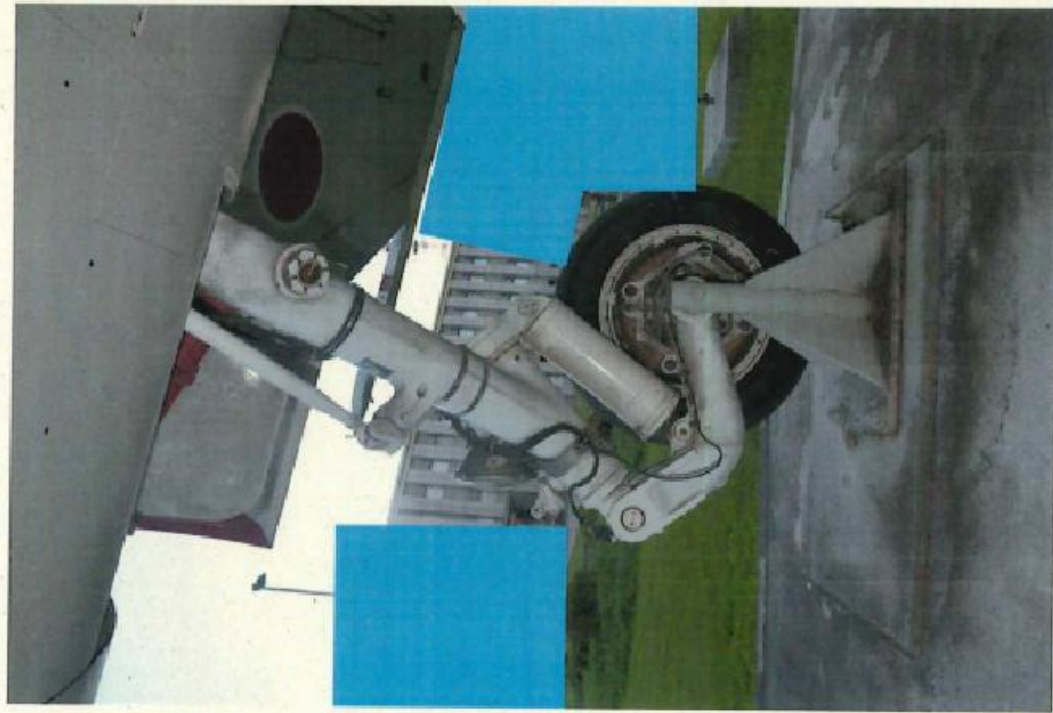
この部分の先端のみ黄 (22-80X)



付図一配色 (続き 38)

「主脚」 (左側)

(内側)



(後)



付図一配色（続き39）

「主脚」（左側内部）



脚格納内部（機体内部）は、清掃及び洗浄



付図一配色（続き40）

「架台鋼材」

- ・黄22-80X
- ・補修

